

## 令和7年度 事業報告

### I. 会議の開催状況

#### 1. 理事会

(1) 令和7年4月1日 第56回理事会は理事及び監事全員の書面により、次の事項について決議があったものとみなされた。

①理事長の選定について

(2) 令和7年4月16日 第57回理事会は理事及び監事全員の書面により、次の事項について決議があったものとみなされた。

①評議員への役員(理事)及び評議員の選任についての決議の省略の提案

②評議員への役員(理事)1名及び評議員3名の選任候補者の提案

(3) 令和7年5月26日 第58回理事会を徳島県立産業観光交流センターで開催し、次の事項について審議を行い承認可決された。

①令和6年度事業報告及び収支決算について

②評議員会の開催について

③報告 代表理事及び業務執行理事の職務執行状況について

(4) 令和7年7月10日 第59回理事会は理事及び監事全員の書面により、次の事項について決議があったものとみなされた。

①評議員への評議員の選任についての決議の省略の提案

②評議員への評議員1名の選任候補者の提案

(5) 令和8年2月17日 第60回理事会は理事及び監事全員の書面により、次の事項について決議があったものとみなされた。

①評議員会の開催日時及び場所について

(6) 令和8年2月18日 第61回理事会は理事及び監事全員の書面により、次の事項について決議があったものとみなされた。

①評議員会の開催日時及び場所について

(7) 令和8年2月27日 第62回理事会を徳島県立産業観光交流センターで開催し、次の事項について審議を行い承認可決された。

①副理事長の選定について

②報告 理事の選任について

③報告 定款の変更について

④報告 副理事長の報酬額について

⑤報告 徳島県立産業観光交流センター及び徳島県立男女共同参画総合支援センターの管理運営事業について

(8) 令和8年3月27日 第63回理事会を徳島県立産業観光交流センターで開催し、次の事項について審議を行い承認可決された。

- ①令和7年度事業計画及び事業会計予算の補正について
- ②令和8年度事業計画及び事業会計予算について
- ③常務理事の選定について
- ④主たる事務所の移転について
- ⑤報告 役員の選任について
- ⑥報告 評議員の選任について
- ⑦報告 代表理事及び業務執行理事の職務執行状況について
- ⑧報告 常務理事の報酬額について
- ⑨報告 定款の変更について
- ⑩報告 資産の変更及び処分について

## 2. 評議員会

(1) 令和7年4月28日 第38回評議員会は評議員全員の書面により、次の事項について決議があったものとみなされた。

- ①役員(理事)1名及び評議員3名の選任について

(2) 令和7年6月13日 第39回評議員会を徳島県立産業観光交流センターで開催し、次の事項について審議を行い承認可決された。

- ①令和6年度事業報告及び収支決算について
- ②報告 代表理事及び業務執行理事の職務執行状況について

(3) 令和7年7月28日 第40回評議員会は評議員全員の書面により、次の事項について決議があったものとみなされた。

- ①評議員1名の選任について

(4) 令和8年2月27日 第41回評議員会を徳島県立産業観光交流センターで開催し、次の事項について審議を行い承認可決された。

- ①理事の選任について
- ②定款の変更について
- ③副理事長の報酬額について
- ④報告 徳島県立産業観光交流センター及び徳島県立男女共同参画総合支援センターの管理運営事業について

(5) 令和8年3月27日 第42回評議員会を徳島県立産業観光交流センターで開催し、次の事項について審議を行い承認可決された。

- ①役員の選任について
- ②評議員の選任について
- ③常務理事の報酬額について
- ④定款の変更について
- ⑤報告 令和7年度事業計画及び事業会計予算の補正について
- ⑥報告 令和8年度事業計画及び事業会計予算について
- ⑦報告 代表理事及び業務執行理事の職務執行状況について

- ⑧報告 主たる事務所の移転について
- ⑨報告 資産の変更及び処分について

### 3. 監査

令和8年5月18日及び5月19日 令和7年度決算について監事から監査を受けた。

監査の結果、事業報告、貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録及び収支計算書は適正であると認められた。

### 4. 賛助会員合同会議

令和7年8月28日 賛助会員との連携を深めるため、合同会議を徳島県立産業観光交流センターにおいて開催し、記念講演を行ったほか、観光事業功労者の表彰を行った。

### 5. 法人の経営等に関する情報公開

定款、事業計画書、予算書、事業報告書、貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録、収支計算書、組織図及び役員名簿をホームページで公開している。

## II. 業務の概要

### 1. 観光振興事業

観光振興事業では、観光情報サイト「阿波ナビ」やSNSを活用し、タイムリーな情報発信に努めたほか、市町村やDMO等観光関連団体と連携した新たな観光資源の発掘や支援、本県を訪れる外国人旅行者等の受入環境の整備、観光商談会等への参加による誘客促進に努めた。

また、県からの受託事業として、県内の観光産業を担う人材の育成のため、「とくしま観光アカデミー」の運営を行う「とくしま観光人づくり事業」や、本県へのロケ誘致支援を行う「とくしまロケーション・ブランド発信事業」等を実施した。

### 2. コンベンション振興事業

コンベンション振興事業では、「国際MICEエキスポ」や「中国四国地区コンベンション誘致懇談会」に参加するとともに、コンベンション主催者に対し、施設利用プランや関係事業者の紹介等の情報発信と誘致活動に努めたほか、主催者に対する開催費の助成等を行った。

また、観光庁事業の採択を受け、県民参加型ユニークベニューの実証を行い、新たなコンテンツの造成に努めた。

海外からのMICE誘致等促進事業としては、国内で開催の商談会「VISIT JAPANトラベル & MICEマート」や現地で開催された旅行博等への参加、現地での営業を実施し、教育旅行や遍路、ゴルフ、サイクリング等のツアー造成に努めた。

### 3. 施設等管理運営事業

徳島県立産業観光交流センター及び徳島県立男女共同参画総合支援センターの指定管理運営事業については、新たな利用が期待できる主催者やイベント開催から遠のいているリピーター主催者などに積極的な営業活動を行った。

また、経済波及効果の大きい催事を計画している主催者に向けた開催支援の事業を充実させるなど利用促進に努めた。

さらに、アスティドローンレース、徳島ヴォルティス パブリックビューイングなどの自主事業を開催し、地域のにぎわい創出や交流人口の拡大を図った。

徳島県立渦の道及び大鳴門橋架橋記念館については、観光商談会への参加や旅行会社への営業活動を行い送客を依頼したほか、増加するインバウンド客に対応するため、外国語対応ができるスタッフの雇用や、翻訳機を活用した多言語対応の強化に努めた。

# 令和7年度 事業報告（附属明細書）

## 観光振興事業

### 1. 観光宣伝・情報発信事業

#### （1）自主（補助）事業

##### ① 観光情報等の発信事業

本県への観光誘客を促進するため、観光ガイドマップをはじめとする各種パンフレットの配布や観光案内対応、観光キャンペーンへの参加のほか、商談会等に参加し旅行会社等への情報提供を実施した。

また徳島県観光情報サイト「阿波ナビ」においては、イベント情報の発信を強化して幅広い情報収集を実施したほか、公式SNS（Instagram、Facebook、X）を積極的に活用して、タイムリーな情報発信に取り組んだ。

観光情報サイト「阿波ナビ」令和7年度PV数 4,674,067pv

阿波ナビInstagram フォロワー数 28,100人

阿波ナビFacebook フォロワー数 5,700人

阿波ナビX フォロワー数 4,685人

##### ② 徳島国際観光・物産交流特使制度事業

本県の観光と物産の魅力を発信し訪日客等の誘致につなげるため、国内外在住の徳島ファンの方々を「徳島国際観光・物産交流特使」に委嘱し、特使の人脈を活かした徳島の観光PRを推進した。

##### ③ 徳島観光情報ステーション管理運営事業

淡路島南パーキングエリア内にある観光情報ステーションにおいて、徳島県及び県内市町村のパンフレットを設置し、情報発信力強化を図り、観光客の誘致促進に努めた。令和7年度においては、パンフレットの補充・更新をGW前など7回実施した。また、ゴールデンウィーク期間においては、観光案内を実施した。

### 2. 観光客誘致促進事業

#### （1）自主（補助）事業

##### ① 観光イベント等参加事業

東京・大阪・名古屋の三大都市圏をはじめとした誘客の見込まれる地域において、関係機関や観光事業者と連携して観光イベント等に参加し、本県の観光情報を発信し、観光誘客に努めた。

##### ア 旅行会社への営業

旅行会社主催の商談会等に参加し、徳島県の観光地や旅行商品、助成制度の説明を行った。

- ・「オール徳島」観光商談会  
 (実施日) 令和7年5月15日(木)  
 (場 所) ホテルメトロポリタン(東京都豊島区)  
 (対象者) 旅行会社の首都圏の支店の企画・造成担当者等
- ・阪急交通社中国四国地区商談会  
 (実施日) 令和7年5月14日(水)、12月3日(水)  
 (場 所) JRホテルクレメント徳島(徳島市)  
 (対象者) 阪急交通社の全国の支店の企画・造成担当者等

② 国際定期路線等を活用したインバウンド誘客事業

本県への国際定期便就航を契機とし、国際線の効果拡大に寄与するため、本県の強みを活かしたプロモーションや、関係団体等との連携を行い、誘客に努めるとともに、関係団体と連携してアウトバウンドの活性化を図った。

また、济州特別自治道観光協会との友好交流協定締結を契機に、相互訪問により情報交換や観光商談を行うとともに、マラソンを通じた交流事業を展開し、相互誘客に協力して取り組んだ。

③ 周遊促進！徳島観光すいすい事業

観光誘客を促進するため、旅行会社が造成する企画旅行商品に対して貸切バス料金の一部を助成した。

(ツアー数) 120件  
 (バス台数) 228台  
 (集客人数) 7,130人

(2) 受託事業

① とくしまロケーション・ブランド発信事業

撮影関係者に対する有用な情報提供や徳島でのロケ誘致活動を実施するとともに様々なロケ支援を行い、メディアを介した本県観光情報発信の露出増加に努めた。また、韓国市場における認知度向上のため、韓国へのプロモーションの強化とロケ支援を行った。

(問合せ件数) 60件  
 (支援件数) 40件

② 魅力あふれる「阿波とくしま」観光誘客推進事業

観光誘客を促進するため、阿波ナビやSNS、観光パンフレット等での情報発信や、県内外臨時観光PRブースの運営も実施した。また、観光客の動向や現場の声を施策に反映させるため、県内を周遊する観光客の人流データの収集や観光関連事業者の意見を集約を行った。

ア 阿波おどり臨時観光案内所

実施日時：令和7年8月13日(火)、14日(水)  
 実施場所：徳島市広域観光案内ステーション前

イ 阿波とくしま観光の日イベント  
実施日時：令和7年10月11日（土）  
実施場所：道の駅くるくるなると

ウ コンベンション会場での観光PRブース  
第20回食育推進全国大会  
《日 程》令和7年6月7日（土）、8日（日）  
《会 場》アスティとくしま  
第35回宇宙技術および科学の国際シンポジウム（ISTS）  
《日 程》令和7年7月12日（土）～18日（金）  
《会 場》アスティとくしま  
ICASI2025国際会議  
《日 程》令和7年9月11日（木）～13日（土）  
《会 場》徳島大学教養教育5号館

③ 訪日インセンティブツアーおもてなし支援事業

徳島県内における訪日インセンティブツアーの開催を促進するため、その主催者及び参加者を対象として、県内開催における満足度向上を目的とした物的支援を行った。

（支援実績）3社（韓国、タイ、フィリピン）

（延べ人数）241人

（支援内容）特産品の提供

④ 国際線を活用したプロモーション受入支援事業

徳島阿波おどり空港に就航している国際定期便の継続的な利用促進を図るため、海外の旅行会社による商品開発のための視察、海外メディアによる撮影を誘致・支援し、本県の知名度向上と国内外からの誘客を促進した。

ア 香港国際華商観光協会による視察

（実施日程）令和7年6月14日（土）～6月18日（水）

（参加者数）旅行社23社 41名

イ 韓国EBS（テレビ局）による取材

（実施日程）令和7年12月31日（水）～令和8年1月6日（火）

ウ 韓国のインフルエンサーによる取材

（実施日程）令和8年3月14日（土）～令和8年3月19日（木）

### 3. 観光客受入対策事業

（1）自主（補助）事業

① 外国人受入態勢整備事業

徳島空港お土産店販売商品の多言語化のための外国語翻訳、徳島駅周辺の

ラーメンマップ、カフェマップ、グルメマップ、モーニングマップの外国語翻訳、徳島おどりフェスタ等、イベントでの外国人用各種案内の翻訳を行い、受入態勢の拡充に努めた。

② インバウンド等受入環境整備促進事業

徳島県内の飲食店、宿泊施設、観光施設、交通事業者等における多言語対応等の支援や、免税店の登録・導入経費を支援することにより、広く徳島県を訪れる外国人旅行者等の受入環境を整備し、利便性・快適性等の向上を図ることを目的として経費を支援した。

(インバウンド受入環境整備申請件数) 57件

(免税店登録・導入促進申請件数) 2件

(2) 受託事業

① とくしま観光人づくり事業

県内の観光産業を担う人材の育成・活用のため、「学びの場」として、観光関連事業者や高等教育機関等との連携による「とくしま観光アカデミー」の運営を実施した。

(開講期間) 令和7年11月11日(火)～令和8年1月24日(土)

(実施内容) オンライン講座3講座、ハイブリッド講座7講座、演習講座1講座、実地講座1講座を実施した。

ア 共通講座(2講座) 内容: 観光学基礎

イ 専門講座(4講座×2コース)

(ア) ビジネスコース

目的: 観光人材の即戦力強化

対象者: 観光事業従事者等

内容: 観光経営学、観光マーケティング論 ほか

(イ) チャレンジコース

目的: 次代の観光産業の担い手育成

対象者: 高校生、大学生、社会人

内容: 地域観光学、観光キャリアデザイン論 ほか

ウ 演習講座(1講座×2コース)

(ア) ビジネスコース・チャレンジコース

受講生の相互交流を図るため、合同受講とし、課題演習を実施した。

日時: 令和8年1月24日(土) 13:00～16:00

場所: 四国大学交流プラザ

参加者: 14名

エ 実地講座

(ア) ガイドテクニック

ガイド実地演習及び参加者によるフィールドワークを実施した。

日時: 令和8年1月17日(土) 13:00～16:00

場 所：阿波おどり会館及び周辺市街  
参加者：6名

(参加申込数) 66名、各コースにおける全講座修了者は2名

② 着地型観光・コンベンション事業

県内の着地型観光プラン等を作成し、旅行会社等への売り込みを行うとともに、コンベンションの誘客促進や開催決定後のサポートを行った。  
徳島県への来訪者数増につなげるため、県内の着地型旅行商品の情報発信や魅力発信のほか、旅行会社(外国の旅行会社も含む)からの問合せ対応や県内の交通、宿泊事業者等の紹介も行った。

③ タイにおけるエージェント営業業務

徳島県への航空路線誘致及び観光誘客を推進するため、タイにおいて効果的に営業活動を行うエージェントを確保し、タイにおいて実施する現地航空会社及び旅行会社等へのセールス活動に対する支援を実施するとともに、継続的かつタイムリーな営業活動を展開することにより、旅行商品造成を促進した。また、SNSを活用した情報発信を実施し、観光誘客に取り組んだ。

現地エージェント：Nitthai Provider Co.,Ltd.

(活動内容)

・タイでのコーディネイト活動

JNTO主催「タイ市場における旅行会社向けオンラインセミナー」(令和7年6月)  
観光地/イベント、助成金制度案内

「ラーメンフェス(バンコク)」(令和7年7月)阿波おどりステージ対応

「JAPAN EXPO THAILAND 2025」(令和7年8月)徳島県ブース

「ビジット・ジャパン・FITフェア」(令和7年11月)四国ブースほか

・観光情報の提供及びセールス活動

日系・タイローカル旅行会社への個別セールスを実施(69社)

県及び観光協会の担当者とセールスコールを実施(令和7年9月・3社)

・SNSによる情報発信

FacebookとInstagramで情報発信を行った。

フォロワー数 Facebook：144,095人(対前年比 4,306人増)

Instagram：9,929人(対前年比 3,446人増)

④ インバウンド等受入環境推進アドバイザー派遣業務

観光事業者に対しアドバイザー派遣を行い、受入環境整備に係る支援制度等を活用するための営業活動を行うとともに、観光関連事業者への伴走支援を行うことで、受入環境整備を促進した。

(訪問数) 211件

内訳 飲食店 131件、観光施設 24件、宿泊施設 27件、  
タクシー 8件、その他土産物店等 21件

## 4. 収益事業

### (1) 自主財源の確保

自主財源を確保するため、徳島県観光ガイドマップの販売による収益拡大に努めた。

また、賛助会員の増強による組織基盤の強化に努めた。

#### ・徳島県観光ガイドマップの作成

2025年度版を7万部増刷し、2026年度版を8万部作成した。

## 5. 調査研究事業

### (1) 地元大学との連携

本県の観光・MICE振興における地元大学との連携について検討し、地域の活性化や人材育成等に繋げた。

## **コンベンション振興事業**

### 1. コンベンション振興事業

#### (1) 誘致対策事業

##### ① コンベンショントレードショーへの参加

###### ア 第35回国際MICEエキスポへの参加

各種コンベンションの主催者に対しては、コンベンション施設・宿泊施設情報や、助成制度等各種支援内容、ハイブリッド開催でのWEB環境などを提案し、本県へのコンベンション誘致に努めた。

(開催日) 令和8年2月12日(木)

(場所) 東京国際フォーラム

(来場者数) 463人

###### イ 中国四国地区合同コンベンション誘致懇談会への参加

中国四国地区9県15都市のコンベンション推進団体で構成される「中国四国地区コンベンション誘致推進協議会」主催で開催された。

多くのコンベンション主催者が来場され、本県のコンベンション施設や助成制度等の説明を行い、誘致に努めた。

(開催日) 令和7年12月16日(火)

(場所) 東京都立産業貿易センター浜松町館(東京)

(来場者数) 55人

###### ウ Japan MICE EXPO 2025 への参加

「Japan MICE EXPO 2025」に参加し、MICE主催団体に対して、コンベンション施設・ホテル情報や各種支援案内、本県ならではの体験プログラムを提案し誘客に努めた。

(開催日) 令和7年11月27日(木)、28日(金)

(場 所) インテックス大阪  
(来場者数) 2, 802人

② 企画提案・視察支援事業

コンベンション主催者に対して、本県での開催におけるコンベンション施設利用プランや関連事業者を紹介した。

また、本県をコンベンション開催候補地として検討中の主催者に対し、視察支援を実施するとともに、会場や宿泊施設の空き状況等の確認や各種調整を行った。

③ 「とくしまコンベンション誘致推進協議会」の運営

産官学民で構成する協議会会員にコンベンションカレンダーや助成制度の情報を提供するとともに、県内の各種関係団体と連携した誘致活動に努めた。

④ 広域連携による誘致促進事業

中国・四国地域のコンベンション団体で構成する協議会の幹事県として、本県での総会の開催や、その他地域のコンベンション団体と連携し、効果的な誘致促進に努め、各種関係機関が開催するセミナー等に参加するとともに、同規模の学会等が開催される都市のMICE関連機関と連携し、積極的な情報収集に努めた。

⑤ MICE専門の機関紙「Tokushima MICE Newsletter」の作成

MICEの開催状況や事業主催者が実施する市民公開講座等を掲載した機関紙を年3回作成し、賛助会員及び県内の大学等教育機関、とくしまコンベンション誘致推進協議会メンバー等に配布した。また、ホームページにも掲載することで、当協会の活動周知及び情報提供を行った。

(2) 受入支援事業

① コンベンション開催支援助成金の交付事業

コンベンション主催者に対し開催費を助成した。

(交付件数) 45件

(交付金額) 27, 209, 902円

② 主要観光施設・飲食店の紹介及び優待割引券の提供事業

開催されたコンベンションでは、主要観光施設の優待券や各種観光パンフレット等を提供した。また、WEB併催又はWEB開催となったコンベンションにおいては、主催者ホームページで本県の観光情報の紹介を行うなど、魅力的な体験観光の紹介をした。

(優待券の配布) 22件 6, 550部

③ MICEおもてなし事業

全国大会・学会開催時の歓迎看板の設置及び、大規模コンベンション開催時には、会場での観光PRブースや、徳島ならではの土産物、地酒等の物産販売による賑やかしについて企画提案し関係団体と調整した。また、

徳島をイメージしたコングレスバッグの販売や、写真や動画等の各種データを提供した。

ア 各種支援の実施

- (歓迎看板の設置) 8件
- (観光・物産ブースの設置) 3件
- (コングレスバッグの販売) 6件 1, 360枚

イ 「アスティとくしま周辺グルメマップ」英語版の作製

「アスティとくしま」周辺の飲食店マップを英訳し、国際会議や海外からの参加者が見込まれる全国学会で配布した。

ウ 酒蔵でのユニークベニュー等の実施支援

第35回宇宙技術および科学の国際シンポジウム (ISTS) の「Closing Ceremony」の会場として、酒蔵 (本家松浦酒造場) でのユニークベニューを企画提案し採用され、当協会が準備から開催までの運営サポートを行った。また、民間企業主催の交流会では、万代中央ふ頭を提案し実施された。

エ 特産品を活用した記念品の提案

「2025年電気学会産業応用部門大会」において、大谷焼きカップ・藍染めコースターが採用された。藍染めコースターには大会ロゴマークと阿波おどりのデザインを提案した。

④ 関係団体との連携

国内及び国際コンベンションの誘致を促進するため、観光庁やJNTO (日本政府観光局)、JCCB (日本コングレス・コパニョニョビューロー) 等のノウハウや情報を活用するとともに、県や市町村、大学等の関係機関と連携し、開催計画等の情報収集や意向調査を行った。

⑤ MICE開催地における魅力向上事業

観光庁の「MICE開催地としての魅力向上事業」として採択され、「まちづくり×MICE」をテーマとしたユニークベニューを通して、国際会議参加者と地域住民との交流プログラムを実証事業として実施した。

(名称) 「まちづくり×MICE」万代中央ふ頭でのユニークベニュー  
- ICASI2025 ウェルカムパーティ 「Pier MICE」 -

(日時) 令和7年9月11日 (木) 16:00~21:00

(場所) 万代中央ふ頭 第二倉庫アクア・チッタ (徳島市)

(プログラム) ・キッチンカーによる飲食ブース

- ・生け花体験
- ・書道体験
- ・藍染エコバッグへのシルクスクリーン体験
- ・折り紙・けん玉・輪投げなどのキッズコーナーの設置
- ・市民向けの「鉄鋼ブース」の設置
- ・阿波踊り

- ・地元ミュージシャンの音楽演奏によるミュージック花火
- ・書道パフォーマンス

### (3) 受託事業

#### ① 着地型観光・コンベンション事業

徳島県への来訪者数増につなげるため、コンベンション主催者及び来訪者等への魅力発信を行った。

### (4) 海外からのMICE誘致等促進事業

#### ① 各種インバウンド商談会への参加

日本最大のインバウンド商談会「VISIT JAPAN トラベル & MICE マート」など各種商談会に出展し、本県の観光PRを行い誘致を図った。

##### ア VISIT JAPAN トラベル & MICE マート2025

(主 催) 日本政府観光局(JNTO)

(参 加 者) 海外バイヤー280社、国内セラー323社・団体

(開 催 日) 令和7年9月25日(木)～27日(土)

(場 所) Aichi Sky Expo(愛知県国際展示場)

(商談件数) 28社

##### イ 四国ツーリズム創造機構 四国インバウンド商談会in愛媛

(開 催 日) 令和7年10月27日(月)

(場 所) ANAクラウンプラザホテル松山(愛媛県松山市)

(対 象 者) 海外旅行会社、ランドオペレーター、OTA等

#### ② 海外からのミーティング・インセンティブ(MI)旅行等の誘致

徳島県や県内DMOと連携し、MIに向けての各種コンテンツのブラッシュアップを行い、徳島ならではのユニークベニューや各種プランの紹介や、サイクリング、ゴルフ、教育旅行等のテーマ別セールスを行った。

##### ア 中国・香港からの誘致

(ア) 香港ブックフェア2025への出展

香港最大級イベントとして定着している香港ブックフェアへの出展をし、本県の観光PRを行い誘致を図った。

(開 催 日) 令和7年7月16日(水)～22日(火)

(場 所) 香港コンベンション&エキシビジョンセンター

(出展社数) 760 団体以上

(来場者数) 99万人

(イ) ツアー造成提案やお出迎え等受入支援

中華圏からの遍路ツアーや各種テーマツアーの受入支援

・令和7年4月8日(火)～4月15日(火) 28名

台湾・香港からの徳島遍路・観光ツアー

・令和8年3月28日(土)～4月2日(木) 23名

台湾からの歩き遍路ツアー

・中国富裕層ゴルフツアー

食事場所の提案、お出迎え、記念品贈呈等の受入サポートをした。

令和7年11月3日（月）～7日（金） 48名

県内4ゴルフ場でのプレー、阿波おどり会館、ショッピング等

（ウ）サイクリングツアー企画に向けた支援

香港のサイクリング専門旅行社の視察を行い、商品化に向けた支援を実施した。

（視察日程）令和7年4月7日（月）～4月9日（水）

イ 韓国からの誘致

（ア）韓国観光・物産商談会への参加

韓国の直行便を活用した商談会に参加し、本県の観光PRを行い誘致を図った。

（開催日）令和7年7月4日（金）

（場 所）ロッテホテルソウルメインタワー（韓国・ソウル）

（対象者）韓国現地旅行会社（旅行会社、ランドオペレーター等）  
約50社

（イ）各種ツアー企画に向けた支援

ゴルフツアー・教育旅行・遍路等、韓国の旅行会社からの問合せへの企画提案や視察時のサポートを実施した。

ウ 台湾からの誘致

（ア）現地セミナー・個別相談会（JNTO主催）

訪日教育旅行促進事業現地セミナー・個別相談会の四国ブースで台湾学校関係者と個別相談会を実施した。

（開催日・場所）

令和7年6月10日（火）台北市（台北喜來登大飯店）

令和7年6月11日（水）高雄市（漢來大飯店）

（全体参加人数）

【台湾側】（台北会場）160名、（高雄会場）127名

【日本側】36団体

（イ）四国教育旅行説明会・学校長表敬訪問商談の実施

高級中等以下学校国際教育交流聯盟の協力を得て、四国単独教育旅行説明会・学校長表敬訪問商談を実施した。

○四国単独説明会

・東部地域

（開催日）令和8年3月16日（月）14：00～16：00

（場 所）国立花蓮高級農業職業学校（花蓮市國魂里建國路161號）

・南部地域

（開催日）令和8年3月18日（水）14：00～16：00

（場 所）高雄市立高雄女子高級中學（高雄市前金區五福三路122號）

- 中部地域  
(開催日) 令和8年3月19日(木) 10:00~12:00  
(場 所) 国立嘉義高級工業職業学校(嘉義市東區短竹里彌陀路174號)
- 北部地域  
(開催日) 令和8年3月20日(金) 14:00~16:00  
(場 所) 桃園市立内壠高級中學(桃園市中壠區忠孝里成章四街120號)

○学校長表敬訪問商談

- 令和8年3月18日(水)  
高雄市立瑞祥高級中學、国立成功大學附属台南工業高級中等学校
- 令和8年3月19日(木)  
雲林縣立麥寮高級中學、国立關西高級中學
- 令和8年3月19日(木)  
桃園市立大園國際高級中等學校、国立龍潭高級中学

(ウ) 日台教育旅行関係者交流会・関係者招請事業(JNTO主催)

日台教育旅行関係者意見交換会に参加するとともに、国内招請事業として台湾教育関係者を四国・徳島に招き、教育旅行に合致した観光資源、体験施設等を視察していただいた。また、訪日台湾教育旅行四国交流支援特使も交えた交流会を開催した。

- 日台教育旅行関係者意見交換会  
(開催日) 令和7年10月21日(火) 10:00~13:30  
(場 所) 東京都(東武ホテルレバント東京)  
(全体参加者)【台湾側】76名、【日本側】88名  
(台湾教育旅行関係者四国招請)【台湾教育関係者】8名

(エ) 教育旅行受入実績

訪日台湾教育旅行誘致事業において学校長等に徳島県の教育旅行を紹介した結果、7校が訪れた。

エ 欧米豪その他からの誘致

徳島県や四国ツーリズム創造機構と連携し、韓国・タイ・マレーシア等の東・東南アジアを主軸に、教育旅行やインセンティブ旅行の誘致に努めた。

- シンガポールでEXPERIENCE SHIKOKU(TOKUSHIMA)の開催  
(開催日) 令和8年1月22日(木)~25日(日)  
(場 所) シンガポール i12KATONG  
(実施内容) 物産や阿波おどり等、徳島県観光PRを行った。

③ MICEとくしま発信事業

オール徳島でのMICE振興を推進するため、タグラインのロゴデザインの制作と活用を行い、法被や商談会への出展や観光案内ブースの設置で利用するテーブルクロスを作成した。

## 施設等管理運営事業

### 1. 徳島県立産業観光交流センターの管理運営事業

#### (1) 管理運営の実施状況

新たに利用が期待できる主催者や利用が遠のいているリピーター主催者などに対し積極的な営業活動を行い、多目的ホールの稼働率向上や催事利用の増加に努め、地域経済の活性化につなげた。

また、本協会のコンベンション部門と連携し、大会・会議などを主催するキーパーソンや学会事務局等に営業活動を行ったほか、MICE商談会などに参加し誘致活動を展開した。

利用者サービスの向上策として、主催者・来場者等へのアンケート調査やイベント開催後に主催者などへの聞き取りによる意見・要望の把握、職員研修による接客対応やリスクマネジメントのスキルアップに努め、利用者サービスの向上を図った。

さらに、自主事業の開催による地域のにぎわい創出や、阿波おどり団体など出演団体の活性化につなげるとともに、県や市町村・市町村観光協会と連携して観光情報などを発信する場を提供し、地域の観光振興事業をサポートした。

そのほか、「安全・安心・快適」な施設運営を基本コンセプトに、計画的な設備の修繕や更新を行い、適正な施設の維持管理及び災害時等の対応能力向上などに努めた。

#### ① 利用状況

内 訳	令和6年度	令和7年度	前年比
多目的ホール・会議室			
開館日数	342日	357日	104.4%
稼働日数	213日	220日	103.3%
稼働率	62.3%	61.6%	98.9%
使用料金額(ホール・会議室)	78,488,508円	91,502,367円	116.6%
駐車場			
利用台数	147,562台	138,798台	94.1%
利用金額	29,512,400円	27,759,600円	94.1%

#### ② 全国展示場連絡協議会への参加

他県から参加している類似施設の実務担当者や運営状況や課題・問題点などについて情報交換を行い、施設運営のスキルアップにつなげた。

(開催日) 令和7年5月27日(火)

(場 所) 愛知県国際展示場

#### (2) アスティおどりひろば(県指定事業)

阿波おどり期間中の昼間対策として実施する「アスティおどりひろば」は、県内有名連による上演に加え、県内4大学の学生連が参加し、午前・午後の1日2回公演を行った。

(開催日) 令和7年8月12日(火)～15日(金)

(入場者) 延べ10,800人

(3) 自主事業

① アスティとくしま「ドローンレース」

多目的ホールを活用し、小学生以上を対象とした「ドローン初心者向け体

験会」及びレース経験者を対象とした「ドローンレース」を開催し、県内外からの参加者が交流を促進した。

(開催日) 令和7年6月29日(日)

(参加者) 45名、うち県外からの参加者12名

② 徳島ヴォルティス パブリックビューイング2025 inアスティとくしま

徳島ヴォルティスと協力し、多目的ホールを活用したパブリックビューイングを開催し、にぎわいの創出と交流人口の拡大に努めた。

(開催日) 令和7年11月23日(日)

(入場者) 1,200人

③ 阿波おどり練習場所の提供と練習風景の観覧

多目的ホールの空き日を活用し、有名連の「はな・はる・フェスタ」や「夏の阿波おどり」「徳島城阿波おどり」などに向けた練習場所として提供した。

また、この情報を市内の宿泊施設等に情報提供し、観光客などに練習風景を観覧いただくことで観光振興とにぎわいの創出に努めた。

4、5月 はな・はる・フェスタ練習 12日間

6月 夏の阿波おどり練習 9日間

3月 はな・はる・フェスタ練習、徳島城阿波おどり 8日間

④ ふれあい広場等を活用した観光情報発信

県や市町村等と連携し、県内各地のタイムリーな話題や観光情報を提供する場として有効活用し、今年度も引き続き写真展やパネル展などを開催し、県内各地のPR活動を支援した。

開催期間	展示内容
3月7日～4月25日	わたしたちが伝えとくしまの魅力満展
5月2日～5月29日	カナダ人地域おこし協力隊ベサニー写真展
6月9日～6月29日	つるぎRPG「ツルギスタ～巨樹と時つむぎのソラ」パネル展
7月2日～7月30日	みなみ阿波フォトコンテスト2024受賞作品展示
8月2日～8月31日	「那賀町フォトコンテスト入賞作品」&「地下足袋王子 写真展」
9月4日～10月19日	みんな集まれ「南つるぎ」に～奇跡のロストワールド～
10月21日～11月3日	みなみ阿波フォトコンテスト2025受賞作品展示
12月5日～1月21日	土井由美 南つるぎ水彩画展「南つるぎ水彩画展」
1月27日～3月5日	鳴門百景フォトコンテスト2025受賞作品展
3月9日～4月23日	つるぎRPG「ツルギスタ～巨樹と時つむぎのソラ」パネル展

⑤ SDGs 推進施策

徳島県が主催する「徳島SDGsパートナー」に登録し、コンベンション

誘致による地域経済の活性化、災害用備蓄飲料水のローリング、ソーラーパネル設置による太陽光発電の活用などSDGs推進を念頭に置いた運営に取り組んだ。

#### (4) 利用促進事業

##### ① 大会・会議等の誘致事業

本協会の観光・コンベンション部門と連携し、MICE EXPO 2025や中四国地区合同コンベンション誘致懇談会などコンベンション誘致関連イベントに参加するとともに、アスティとくしまを利用する可能性があるコンベンション団体や主催団体のキーパーソンに開催要請を行うなどコンベンション誘致を図った。

##### ア. MICE EXPO 2025

(開催日) 令和7年11月27日(木)、28日(金)

(場 所) インテックス大阪

##### イ. 中四国地区合同コンベンション誘致懇談会

(開催日) 令和7年12月16日(火)

(場 所) 東京産業貿易センター浜松町館

##### ウ. 国際MICEエキスポ2026

(開催日) 令和8年2月12日(木)

(場 所) 東京国際フォーラム

##### ② 催事誘致営業活動

周年記念イベントなど新たな利用が期待できる主催者や利用が遠のいているリピーター主催者・県内文化団体などを訪問し営業誘致活動を行い、多目的ホールの稼働率向上や使用料収入の増加に努めた。

さらに、企業や団体等に販促・周年記念イベント等の開催案内やモデルプランを提示し利用促進を図った。

(訪問件数) 23件

(誘致件数) 3件

(送付数) 174社

##### ③ 興行への支援助成金交付事業

有名アーティストによる興行は、県外からの来場者も多数あり、宿泊や飲食を伴うなど地域への経済効果が見込まれることから、興行の開催を後押しするとともに、施設の利用促進及び地域の活性化を図るため、一定の基準を満たしたイベント主催者に対し支援助成金を交付した。

(交付件数) 2件

(交付金額) 270千円

(参加者数) 7,383人(県外4,074人、県内3,309人)

#### ④ 巡視員（Security manager）配置事業

大規模イベント開催時には、交通渋滞や違法駐車が発生し、近隣施設等から多くの苦情が寄せられており、これまで、多目的ホールの主催者には警備員等の配置を依頼し混雑の解消を図ってきたものの、主催者による警備員配置にも限度があるため、主催者側の警備員等が確実に配置されているか、また、効率よく警備が行われているかを確認しアドバイスやフォローを行う巡視員を配置し、交通渋滞の緩和やスムーズなイベント運営を図った。

（配置件数） 8件

#### ⑤ FM放送局活用事業

地元のFM放送局を活用し、自主事業や関連事業などの情報提供の他、多目的ホールで開催されるイベント情報や駐車場の混雑予想情報等を発信し、施設の利用促進や渋滞緩和などの抑制につなげるとともに地域の活性化を図った。

（放送日時） 毎週水曜日 午前8時10分から約15分間

#### （5）館内設備の維持更新等

日常的な運転監視や定期的な点検により、故障や事故の未然防止に努めるとともに、設備等の修繕については、経年による劣化状況の把握から優先度を決定し、安全性とコストの両面から検討を行い、県との事前協議を綿密に行いながら、効率的かつ効果が最大限発揮できるよう実施した。

#### （6）訓練・研修等の実施状況

非常時の対応能力向上について、アスティとくしまに入居する他の事業者などと共同で、「消防訓練」「津波避難誘導訓練」「救命講習」などを行い、危機対応能力の向上や連携の強化を図った。

また、当施設が徳島市の「津波避難ビル・緊急避難場所」等に指定されていることも踏まえ、非常時備蓄品の確保などに努めた。

さらに、接遇やリスクマネジメントに関する研修などを行い、職員のスキルアップやモチベーションの向上に努めた。

##### ① 第1回消防訓練・津波避難誘導訓練

実施日：令和7年5月19日（月）

参加者：徳島県観光協会、アスティ舞台・音響・照明、防災センター、清掃、警備、男女共同参画総合支援センター、こども室、テレコメディア

内容：徳島市東消防署員講師による、通報訓練、消火栓を使用した初期消火訓練、大震災を想定した津波避難誘導訓練、トイレ使用禁止措置の方法・簡易トイレ使用方法等確認

##### ② 第2回消防訓練・普通救命講習

実施日：令和8年1月15日（木）

参加者：徳島県観光協会、アスティ舞台・音響・照明、防災センター、清掃、警備、男女共同参画総合支援センター、こども室、テレコメディア

内 容：徳島市東消防署員講師による、通報訓練（救急・火災）、消火器を使用した初期消火訓練、火災時の避難誘導訓練、心肺蘇生法、AED使用方法、止血方法等

### ③ 災害時の避難誘導體制

災害時に備え、多目的ホールの主催者に対しては「避難誘導及び消火活動体制届出書」の提出を依頼し、緊急時の責任者及び避難誘導等に従事できる方の氏名等を報告いただいている。

実際の避難誘導については、当日出勤している協会職員が主催者と連携して対応しなければならないため、多目的ホールを利用する全ての催事において、協会職員の役割も明確にした「災害時避難誘導體制シート」を事前に作成し周知している。

各人が自らの役割を事前に認識し、シミュレーションしておくことにより、発災時には主催者と連携して迅速かつ的確な避難誘導につなげるよう備えた。

### ④ 職場研修

職員のモチベーションやスキルアップなどを目的とするほか、新たなコミュニケーションの場として活用するため実施した。さらに、個人情報取り扱いに関する研修を実施した。

実施日：令和7年9月1日（月）～5日（金）

内 容：リスクマネジメント研修、緊急対応マニュアル研修、接遇研修

実施日：令和7年11月11日（火）

内 容：個人情報・特定個人情報に関する研修

## 2. 徳島県立男女共同参画総合支援センターの管理運営事業

### （1）管理運営の実施状況

アスティとくしまとの一体的な管理運営により、新たに利用が期待できる主催者や利用が遠のいているリピーター主催者に対して積極的な営業活動を行い、稼働率向上や催事開催の増加による交流人口の拡大や地域の活性化につなげた。

また、本協会のコンベンション部門と連携し、大会・会議などを開催する主催団体のキーパーソンなどに営業活動を行ったほか、MICE商談会に参加し誘致活動を展開した。

さらに、利用者サービスの向上策として、主催者・来場者等へのアンケート調査やイベント開催後に主催者などへの聞き取りによる意見・要望の把握、職員研修による接遇対応等のスキルアップに努めた。

加えて、「安全・安心・快適」を基本コンセプトに計画的な設備の修繕や更新を行い、適正な施設の維持管理及び、災害時等の対応能力向上に努めるなど、アスティとくしまを含めた一体的な管理運営や営業・広報活動を行い、来館者数の増加とホール・会議室等の利用率向上に努めた。

(2) 利用状況

内 訳	令和6年度	令和7年度	対前年比
テレコメディアホール			
開館日数	353日	354日	100.2%
稼働日数	111日	106日	95.4%
稼働率	31.4%	29.9%	95.2%
使用料金額(ホール・会議室)	9,691,550円	8,537,680円	88.0%
第5会議室			
開館日数	353日	354日	100.2%
稼働日数	179日	192日	107.2%
稼働率	50.7%	54.2%	106.9%
第6会議室			
開館日数	353日	354日	100.2%
稼働日数	121日	124日	102.4%
稼働率	34.3%	35.0%	102.0%
展示ギャラリー			
開館日数	353日	354日	100.2%
稼働日数	176日	192日	109.0%
稼働率	49.9%	54.4%	109.0%

(3) 誘致活動

① 主催者訪問事業

アスティとくしまで新規利用が見込まれる主催者や、利用から遠のいているリピーター主催者などに営業活動を行う際に、併せてテレコメディアホール及び会議室等の利用について依頼した。

② 地元企業等のイベント誘致事業

県内企業等に対して設立周年記念などのイベント開催依頼文を送付する際に、テレコメディアホール及び会議室等の利用についても依頼した。

③ 大会・会議等の誘致事業

本協会のコンベンション部門と連携し、国際会議、全国大会等の誘致活動を行う際に、分科会等で数多くの会場を必要とする大会・会議等は、パーク テレコメディアとの併用を依頼した。

(4) 事業実施状況

項 目	実施概要
徳島新聞「映画と催し」欄への掲載	「アスティとくしま」と同様に掲載し、催事案内の充実及び利用者サービスの向上に努めた。
FM放送局の活用	「アスティとくしま」での催し物案内に加え、パーク テレコメディアでのイベント案内を実施し、利用者の拡大と施設のPRに努めた。

### 3. 徳島県立渦の道・大鳴門橋架橋記念館の管理運営事業

#### (1) 管理運営の実施状況

徳島県の玄関口である鳴門地域の観光拠点として、共同管理運営者である(株)ネオビエントと連携し、観光商談会などでのプロモーション活動や、旅行会社への営業活動を積極的に行い利用促進に努めた。また、国際定期便の就航などにより増加する外国人観光客に対応するため、外国語対応ができるスタッフの雇用やAI翻訳機を活用した多言語対応を強化し円滑な運営に努めた。さらに、フェイスブック、X、インスタグラム、ウェイボを活用したSNSでの情報発信を強化し利用促進につなげた。加えて、施設の維持管理については、定期的な点検や計画的な修繕を行い、大鳴門橋自転車道の開通に向けた改修工事についても、県主管課と情報共有を図りながら「安全・安心・快適」な運営に努めた。

#### (2) 利用状況

内 訳	令和6年度	令和7年度	前年比
渦の道			
入館者数	540,337人	610,544人	113.0%
入館料	216,823,490円	244,879,430円	112.9%
エディ			
入館者数	72,773人	91,310人	125.5%
入館料	29,422,690円	37,018,620円	125.8%

#### (3) 利用促進

##### ① 旅行会社等への営業活動

鳴門公園地域の事業者や旅行会社等との連携を図り、個人及び団体旅行者向けのプロモーションを積極的に展開した。観光商談会では「大鳴門橋自転車道」などの新たな地域の魅力を発信し誘客活動を実施した。

また、外国人観光客の受入体制強化に関しては、観光商談会への参加やファミツアアの受け入れ、多言語によるプロモーション活動を実施し、積極的な誘致活動を行った。

##### ② SNSでの情報発信

SNSで情報発信を専門に行う事業者に依頼するなど効果的な発信に努めた。また、Facebook、Instagram、YouTubeにイベント情報などの広告を掲載するとともに、渦の道・エディの公式HPへの誘導を促し、利用者が必要な情報を入手しやすい環境を構築した。

##### ③ サイクルツーリズムを活用した視察誘致推進

令和9年度に完成予定の「大鳴門橋自転車道」の開通に向けて、サイクルツーリズムの視点を取り入れた情報発信など、サイクリストや自転車業界関係者に向けた誘致策を推進し新たな利用層へのPRを図った。

##### ④ 地元観光関係団体等との連携

四国ツーリズム創造機構が主催する東京・大阪での観光商談会に参加し誘致促進に努めた。商談会の前後には旅行会社を訪問し、送客の依頼や情報交換を行うなど、

様々なニーズ等を把握することで個人・団体旅行などに向けた利用サービスの向上に努めた。

⑤ イベントの実施

元旦に「初日の出in渦の道」を開催し、早朝開館により渦の道展望室で初日の出をご覧いただきながらホットドリンクやカイロの提供などを行い来場者サービスの充実を図った。

また、鳴門公園の事業者と連携し「鳴門公園デジタルスタンプラリー」を実施し、地域の活性化に努めた。

<参考資料>

徳島県の観光の現状について

2026.5月時点

	2024年	2025年	前年比
国内年間旅行消費額	843億円	1,168億円	38%増
年間延べ宿泊者数	2,538千人泊	2,648千人泊	4.3%増
観光満足度	91.80%	94.10%	2.3%増
年間延べ 外国人宿泊者数	173千人泊	230千人泊	32%増

【参考】外国人宿泊者数国別ランキング（上位5カ国）※従業者10人以上施設

	1位	2位	3位	4位	5位
2024年	台湾 (25,080人)	香港 (22,390人)	中国 (13,870人)	米国 (9,150人)	韓国 (7,040人)
2025年	韓国 (46,900人)	台湾 (32,770人)	香港 (31,080人)	中国 (19,380人)	米国 (11,960人)